

海外安全対策情報（2021年1月～3月期）

1 社会・治安情勢

新型コロナウイルスの影響で、厳しい州境・国境規制で海外・他州からの移動が制限されている状況のため、観光客や州外の人が被害に遭う等の事件は報告されておらず、3月に西豪州議会選挙が実施されるも、特段の混乱は見受けられなかった。一方で、新型コロナウイルスの影響で外出制限措置（ロックダウン）が実施されるなど、自宅等で過ごす時間が増えたことにより、児童虐待等の家庭内暴行及び脅迫、また、軽装となる夏期であるため性犯罪が増加。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全体

西豪州全体における2021年1月～3月期の総犯罪発生件数は61,916件。パース首都圏では46,263件であり、西豪州全体における割合は74.7%となっている。前年同期比は、西豪州全体が▲14.6%、パース首都圏が▲17.6%と減少しているものの、殺人や性犯罪などの対人犯罪においては微増であり、引き続き注意が必要な状況である。

(2) 主な犯罪発生件数内訳

	発生件数	前年同期比
(ア) 西豪州全体	61,916件	▲14.6%
殺人(含未遂)	14件	※
性犯罪	982件	+10.2%
家庭内暴行	6317件	+6.3%
家庭外暴行	3,448件	+6.8%
脅迫	1,817件	+3.4%
窃盗	16,112件	▲28.4%
薬物犯罪	5,696件	▲15.7%
詐欺関連	7,108件	▲7.8%
(イ) パース首都圏	46,263件	▲17.6%
殺人(含未遂)	13件	※
性犯罪	728件	+12.5%
家庭内暴行	3,643件	+0.3%
家庭外暴行	2,384件	+3.2%
脅迫	1,170件	▲2.5%
窃盗	13,440件	▲30.1%
薬物犯罪	4,198件	▲12.1%
詐欺関連	6,545件	▲8.3%

※当期より集計項目を細分化したところ、過去の比較対象の数値が存在せず算出できない。

(2) 窃盗

西豪州全体で前年同期比▲28.4%ではあるものの、依然として総犯罪件数の約4分の1を占める。財布などの貴重品の管理には細心の注意を払い、基本的防犯対策を講じることが重要。また、窃盗事件のうち、自動車に関連する窃盗が約3分の1を占めており、車内放置荷物に限らず部品等の窃盗も多く、外出先では駐車場所に注意するとともに、外から見える場所に荷物を放置しない等の対策が必要。

(3) 詐欺

詐欺事件の大半がクレジットカードに関連するものである。西豪州警察は銀行口座の暗証番号等の管理の徹底はもちろんのこと、定期的の使用履歴を確認する等が不正利用の早期発見につながるとして注意を呼びかけている。また、新型コロナウイルスに関連する詐欺事件も報告されており、不用意に個人情報や電話口等にて提供することのないよう注意。

(4) 邦人被害事案

新型コロナウイルスに関連し、昨年までにアジア系市民に向けた暴言等の差別行為が数件報告されており、在留邦人も被害に遭った旨報告されているが、今期にあっては特段の事案は報告されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2020年12月、当地の男性がオンライン上で豪州外でのテロを扇動した容疑で逮捕される事案が確認されているが、右以外については特異な事件は報告されていない。

(2) 豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、全体で5段階のうち、上から3番目の「起こる可能性がある(Probable)」であり、脅威度は東海岸の都市に比べても低いとみられているが、近年はテロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっているので、テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを念頭に置き、日々の情報収集に努めることが重要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められない。

(了)